いわき民報
發行所
いわき民報社
福島縣平市田町一番地　電話一三八
印刷人兼發行人　己克輝千
編輯兼發行人
毎日曜日を除く毎日刊
定價一部十五錢　一ケ月十円

内務省机上案崩壊か
二六米道路絶對反對
關係者大擧知事に陳情

平驛前から南へ抜ける幅員三十六米道路新設の内務省案に對して、かゝる尤大な道路の必要があるかどうか各方面論議の中心となつてゐたがこの程來平した石原知事に對し關係者三十余名は午後三時から平警察署會議室で石原知事と會見

本道路の延長二百五十間でこの案を實施すればつぶれる家屋が百數十軒に及び住宅飢饉を一層激化せしめる、平市の中心街を爲す國道の幅が十一米であつて此の三倍以上の尤大な道路が何故必要なのか内務省の机上設計は實情に添はぬものであると種々各都市との例を比較して陳情に及んだがこれに對し石原知事は事情はよく判つた、國道が十一米なら新設道路は廣すぎるやうに思ふ尚よく研究して善處したいと述べ陳情内容をノートに認めて會見を終つた、陳情者代表大谷武雄氏は語る

此の案は戰災地復興を目的として特別都市計畫法に依つて内務省が机上で樹てた案であつて實情に添はぬ、最初の案によれば、舊市街地面積が二十六萬坪しかない處へ、十五萬坪の道路を敷設すると云ふのであつて、即ち市街地の二分の一が道路となり道路だらけの平市が出來上ると云ふ無茶な計畫である、大都市なら三十六米でも廣すぎることはないが本市としては百年後を考慮に入れても無駄な案である、往年の都計では八米道を計畫、戰災後當初十五米に擴張、特別戰災都市指定に依つて一躍三十六米に飛躍したもので無くてもよい道路だが、作るとすれば最大幅員十五米が數限度と思ふ

住宅計畫提案
愈々二十日市會へ
庶民住宅申込殺到

住宅難緩和の一助にとるために第一期分中、一戸十坪程度の庶民住宅百三十戸と十二坪建十戸が殘つているが、未だ申込みは二十戸で、この分譲住宅百戸を建設市では之又早急の申込みを望んでいる

出場チーム
實に十三鑛
迫る炭鑛野球

石炭鑛業會並びに炭鑛全協共催、の全國炭鑛野球東部地方豫選會大會は二十二、三日の兩日午前九時から平工、平商兩球場で擧行されるが出場チームは左の通り

木戸炭鑛、日曹赤井鑛業所、常磐炭鑛、常磐内郷鑛、小野田炭鑛、好間地區未定

石城郡の人口
六月十日現在調で
二六九、三三九人

六月十日現在における郡の人口は二十六萬九千三百三十九人、世帶數五萬八百十四戸となつている、町村別人口および世帶數左のとおり（括弧内は世帶數）

泉　六四八（一三四五）渡邊三四五八（四六一四）植田九三〇（一八三八）山田五八七（一〇五）錦八五六（一八四〇）勿來一五三七（三九四）上遠野四五六（二一七）入遠野四五六（八四八）川部六九二（二三三）田人七七七（一四〇〇）飯野四〇〇（六六三）夏井三〇三（五四四）高久三七二（五六六）豐間四九五（九九）江名一〇六七（一七〇）鹿島二三〇四（三六八）小名濱二四〇（四二四）四倉一〇三（一九四）湯本二四三（四七三）内郷三六六（六三四）好間一九九五（三五四）赤井一〇六（八〇九）永戸五〇九（八三五）神谷四六五（七四）草野五九六（八七五）大浦三三一（九三一）小川五六（七九）小川五六日午前十時から湯本町三（九二〇）川前三四七（六三）の常會で炭鑛自治館に縣▲計二十六萬九千下及び茨城縣の各關係三百三十九人五萬八百十四戸

中平窪坑害對策
鈴木市長乘出す

日曹赤井鑛業所の坑道掘進で中平窪一帶の人家や畑地に龜裂を生じ危險にさらされているので、昨年九月被害地に增關係者に炭鑛側から損害賠償として一萬圓提供一應けりがついていたが、連日の降雨で最近又傾斜や龜裂がひどくなる一方なので、鈴木市長は二十日の市會協議會に諮り恒久對策に乘出すことになつた

法大戰繰上げ
二十三日磐中球場

濱通りスポーツ連盟主催、本社後援の法大對他炭鑛坑夫連の參集も平クラブ及び法大對常得て今後の對策その他磐炭鑛の野球戰は二十四日の豫定のところ都合により二十三日に繰上げとなつた

住宅改善協議
各炭鑛關係者を網羅二十五日に

炭鑛のハーモニカ長屋を庭でいわき貨物チームと對戰十六對一コールドで快勝したが、丸市内丸ほん勞組野球部では十四日第三小學校機關に故障を生じ双葉郡廣野沖合を漂流中を十七日午後五時半小名濱海運局で發見磐城七濱から救助船を出し救君は台北中學出身、在助にあたつている

技術員增員
夏山增產に備へ

農業會石城支部では七月一日からの夏山增產運動に呼應してこの程薪炭技術員三名を四名に增員した

割當額を七割突破
平局の簡保成績

平局では簡保割當三萬八千七百圓達成に四月は田町松月堂、但し上の女中上松ケサエさんが中、下平窪は草野屋、來全力を擧げていたが中、十八日現在では割當を七割余をも突破の六萬九千百二十三圓と云う數字にどぎつけた

木炭原木割當
鈴木警部今日着任

小名濱初代警部派長所長となつた浪江署勤務鈴木龍之助警部は十八日着任したいなお浪江署へ轉勤の柴田警部補は十七日赴任した

眞たい
白動車檢査

けさ小名濱で水揚げ二千貫時ならぬカツオ水揚げでみなと小名濱はボツ〳〵活氣を呈して來た

平署管内の白動車使用檢査は二十八日から三日間市内八幡小路檢査場で有効期間滿了前一ケ月以内のもの及び有効期間滿了の際檢査延期申請中のものにつき實施する

光照丸救助
廣野沖を漂流中

宮城縣氣仙沼町漁業齋藤繁右衛門さん所有のカツオ船光照丸百十五トン（五十九人乘組）は十八日午後一時半頃廣野沖合を漂流中を發見、救助船を出し救助にあたつている

麻雀
一口メモ

組織擴充强化へ
和樂路會の對策成る

旅行クラブ平班和樂路江名、四倉、湯本、植田、勿來の各方部に支部を新設して一大擴充强化を期するために、今度部會では組織の擴充强化運動に乘り出すことに決定、即時實行に着手した、なお又專門委員を新設する計畫で人選も進めている

講師連も決定
農村保健講座日割

農村民の生活安定をはかるには先づ農村民の健康生活を期さねばと二十日から豫開する農業會石城支部の農村保健講座は各方面から多大な期待をかけられているが、既に受講者五十名の選衡も終り十ケ月七十八時間に亘る講習會の演題および講師も左の如く決定した

【七月十一日】◎婦人衛生と性病豫防の指導（六時間）白河厚生病院婦人科醫長野口元氏

【八月八日】◎妊娠と母子保護對策（三時間）縣立女子醫專教授醫博末吉爾吉氏◎農村の育兒と乳幼兒疾病指導（九時間）未定

【九月十一、二日】◎結核の療養知識（六時間）翠ケ丘療養所大久保留吉氏◎農村衛生と性病豫防の指導（六時間）白河厚生病院長野口元氏

【十月一日】◎農村榮養食改善（六時間）縣農業會技手山崎喜世子女史

【十一月七日】◎社會衛生（三時間）秋田女子醫專教授醫博高橋實氏◎農村疾病と保健婦の活動（三時間）全國農業會東北支部醫博海野金一郎氏

【十二月五日】◎農村厚生事業と醫療協同組合（六時間）全國農業會東北支部龜ケ川正喜氏

【一月十六日】◎農村經濟と農政問題（六時間）福島縣農業會主事渡邊正義氏

【二月十一日】◎農業經營概論（三時間）福島縣農業會農産課技師阿部義衛氏◎婦人と新憲法（三時間）福島縣農業會農産技師◎農村の保健問題（三時間）宮本百合子女史◎農村と宗教（二時間）福島縣農業會主事渡邊正義氏

【二月十一二日】◎時局問題（三時間）朝日新聞前ローマ特派員依多喜男氏◎特別講演（六時間）日本勞働科學研究所長醫博塚が、結局七月二十三日實施檢證を行い、全二

殺害を否認
尾崎德保不貞腐る

湯本町故比十八日證人として尾崎お第の妹おてるさん殺し人が犯行後泊つたという小名濱町吉田屋旅館の新圓の行方は

いわき寸言

▲久方振りに陽のめをみる、もう雨は澤山▲これからが傳染病の警戒期たるを忘るな▲衣料品のヤミ値下押しに急速調助かりをす▲主食類は騰る一方と來るが、これには泣きます▲農村も詰つた、濱も不便とかこつ、さて近頃の新圓の行方は

社告

本社の新築社屋も一部壁を殘し竣工するに至つた爲、二十一日新社屋に移轉編輯及び營業等一切の業務を新社屋に於て取扱うことになりました

社用の御用は當分の間電話一七六番にお願い致します

いわき民報社

機械と工具の店
具金綴・トルベ・フトヤシ・メタル
ドリル・丸駒タツプ・ベアリング
灯　山　鐵・具器接鎔藥酸
電話一二三・一六二
平市月見町工場
佐藤鐵工販賣部

本讀庭家

この無駄を廢せば
面白い數字の調べ

われ〳〵の生活はインフレの高波にもまれて辛うじて餓えをしのぐ程度だが、一日お米を一世帶で三十粒づつ無駄にしたらどうなるね、木炭を一かけらづつ節約したらどうなるか——

米は年一六〇俵
一戸で一日に三十粒の節約で

石城地方事務所庶務課かれ八百九十二萬八千の調査によると郡下の本となる、また人口は二十六萬九千三百三十九人、世帶數五萬八百十四戸でまず米を一日一世帶三十粒づゝ節約すると一升八萬五千粒として一日に郡下で一斗七升九合が浮き一ケ月で十三俵四斗、一年では百六十俵八升となり

タバコ では專賣局平出張所の調査による登錄者十五萬三千人が一日一人一センチ二ミリを捨てたとしても一本七センチのたばこでは一日二萬四千八百本一ケ月では七十四萬四千本、一年では驚くなかれ八百九十二萬八千百三十五俵、一ケ月で一萬九千五十俵、一年では二十二萬八千六百俵がうく勘定となりちりもつもれば一の諺どおり少しのものばかりに出來ない事になるわけだ

木炭を 一日一世帶で五十匁づつ節約すればこれも驚くなかれ六萬九千百六十箱となりマツチ を一日一世帶十本づつ無駄にすると一箱百本として一日一萬九千五十俵、一年では二十二萬八千六百俵がうく勘定となりちりもつもれば一の諺どおり少しのものばかりに出來ない事になるわけだ

開放
中學生から

△大人の人達はよく自由を叫び、そして我々中等學生が自由を奪をりません。具體的に例ちがへてゐると云ひまをあげて僕達に注意して欲しいものです。

△現在の舊制中等學生と云ふのは分かり易い品な言葉を使かつたり交際したらいいと思ひます。それによつてお互に向上する事もあるのだから。又さうかと云つて戀愛をして悪いことをするのか僕に定つてゐるんだから皆いろ〳〵な異性觀をことともありません。責任のある自由は認められます。とにかく今迄の封建的な考へを我々自らので打破して行くのがいいでせう。皆さんもよく考へて僕に對して意見を述べて下さい。

（磐中　會田生）

結局六月は赤字か
中下旬の出炭も望みは薄い

終戰以來北海道、九州 中旬の目標八萬一千トン達成も懸念されるに至り、現狀からみては六月の出炭はまづ赤字克服は困難と見越され、鑛業會、東北地方商工局平出張所では協力、炭鑛及び勞組側の理解ある協力を求めて七月からは必ず出炭復興會議の結成やその他凡ゆる手をつくし增産に拍車をかけるのと、公休返上による採炭のみを醬油仕込用への流用も石炭廳から認可をみたので今後は目標達成も叶うかにみえたが、たゞ〳〵田植時期に遭遇し即ち小野村長は山村の開發は先づ道路の改修

山村田人村の將來
小野村長と澤田議長の抱負

郡南の山鄕荷と交通機關の完備にあり として植田町との連絡村營バスの運轉を實現せしめたいとの抱負を抱いており又澤田議長は

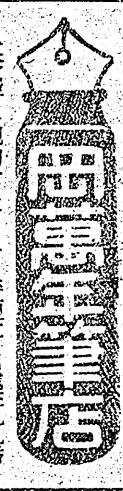
村は農耕地不足なのであるから殖林事業の奬勵と育成をしなければならない、現に一ケ年輪伐計劃に依る素材にして二萬石、時價相場二百萬圓 製材に依るは時價六百萬圓に上るがこれが搬出道路の不完全から折角の價格が均等されぬうらみがある、故に道路網の修築事業が田人村 市內二十八區では二十を活かす方法で森林 三日午後一時から公會堂 本間に區民大會を開き、衛生、納稅兩部を組合と協力三千萬圓を投じ五年計畫で分の發會式を行う、なお村二百キロの林道等區の名稱も二十八區圍の改修工事を決行したいといつている、設けるが、明るく住みこの兩者完全な協力よい街建設を目指して提携により全村の區民大會を開くのが市途は期してまつべきではこれが最初 ものがあるとされている

二十八區區民大會
明るい町建設に

高級ライター
數種入荷

斯界の最高ポイント
高級プラチナ萬年筆　販賣中

▲修理は親切丁寧に　平市三丁目電三九九番



指壓療法

スポーツ、仕事病後の疲勞感（アヂドーゼ）を除き血行を快復し淨血（アルカロセス）を增加させて病氣の豫防と治療を兼ねる療術方法であります

例へば
○身體のだるみを感ずる人
○肩のこり、胃腸の惡き人
○頭痛神經痛を感ずる人
○榮養吸收の惡き人

平市銀座街（電四四番）
指壓療術師
公衆衛生士
明治鍼灸學士
所長　阿部康雄

事務種用
一、會社設立、合併、解散
一、會計檢査、調査、決算
一、帳簿組織立案並ニ整理
一、一般會計事務及鑑定

小名濱町大原
渡邊會計事務所
計理士　渡邊清匡

洗劑は即ち汚れを落す
石鹼は水質の惡い所では駄目
硬度の高い井戸水は不溶解性である
サクラ洗劑は！
井戸水、溫泉、どこにも適し能く洗淨性に富み垢や汚れ、油脂、ペンキ等自然分離せしめる特長をもつ
六キロ木箱入（石鹼六十個分）
三十六圓
サクラ洗劑化學工業所
所長　櫻井忠治
小名濱町明神町一〇事務所電一八三

キモノと洋服
一番高く賣る店
平驛前白銀通り
福屋

◇小型自動車修理部◇
くろがね　ダットサン　ダイヘツ　マツダ
平警察署前通
三浦商會
電八六四番

加工染丸服洋
機械完備
京屋染工場
長岡勇
平市南町大通り
電話六九四番

新刊兒童各種
空木箱賣物アリマス

小さな問屋で大きな勉強
皆樣の便利屋としてサービス本位で進む
安値自信　卸問屋
さかいや商店
平市六丁目（通電四八五番

眼鏡專門
各眼科醫指定
屋
平市二丁目
電話九〇一番

視力試驗設備が有ります
玉

☆紹介畫映☆
僧小カニモハ
館界世から日十二

製作　富岡厚雄
原作　山名義郎
カメラ　友成達雄
演出　例の齋藤寅次郎一東寶作品一

★配役★
松壽司の主人松吉　芦ノ家雁玉
女房お兼　水町庸子

點以上の成績で卒業し大學を出た伴竹雄　川田義雄
素晴しい。所が大學のタバコ屋の主人西村講義では壽司の握り方林田十郎は敎えない。だから歌娘綾子　山根壽子
やハモニカは得意だが壽司はてんで握れない髪結さんお仙　濱川虹子
それが父親の松さんには氣に入らず、遂に勘當を云い渡され竹雄は享主　高勢實乘
得意の歌を活用して、遊覽バスの案內人と云藝者花勇　笠原英子
う職業を見つけたが、或る日お客の中からミ

★ものがたり★
松壽司の伴竹雄はほんじよそこらの壽司屋サンを發見して、互にの伴とはちよいと譯が憎からず思つたが父親に又も喧嘩出現と云ふ新居を構えたが、こゝ

ソウルワシキ女性綾子選ぶ。何しろ大學を滿同志はけんか友達、二人の新こん生活までに

目的種業營

造製一般　造製球電用　製球電用　電及用　用明照　子硝用　鑛山　特球電

平硝子製作所

電平二七七　町田市　店場工一
電平二六〇　町島新　工二第
電平四五五　町分小川新　本第